

## 平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	ポイ捨て防止啓発事務事業			事業コード	1653
担当課等	所属名	環境部 廃棄物対策課	担当係名		
	課長名	千葉 良高	担当者名	小笠原 雅彦	電話番号

## 1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	環境との共生	コード 6	施策	生活環境の保全	コード 1
	基本事業	環境衛生の確保	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 4款 2項 1目 不法投棄防止事業(006-03)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度      ⇒ (開始年度 不明年度～)					
事務事業の概要	ポイ捨て禁止の啓発活動を行い、環境美化に関する市民の関心を高め「ポイ捨てしない、させない」環境づくりを推進するものである。					
根拠法令等	盛岡市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例第23条					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
市街地の商店街や住宅地では地域環境が悪化しないよう自主的な清掃活動を実施しているが、タバコを始めとしたポイ捨てごみに苦慮していることから、行政がマナーやモラル向上のための啓発活動を実施しているものである。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
議会においてポイ捨て対策や関連条例の制定について質問が出ている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
市民や事業者が実施する環境美化活動が盛んに行われるようになり、ポイ捨てごみは年々減少して来ているが、今後も「ポイ捨てしない、させない」環境づくりを推進する啓発活動を継続して実施することが重要である。						

## 2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	①市民 ②ポイ捨てごみ	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 人口	単位	人
				B. 市内にポイ捨てされたごみの個数(中央通における定点観測)	単位	個
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ①ポイ捨てごみの状況調査を行った。 ②ポイ捨て禁止の啓発シールを市街地の交差点の歩道に貼り、啓発に取組んだ。 ③ポイ捨ての主な原因となっている路上喫煙について実態調査を実施した。  23年度計画(23年度に計画している主な活動) ①ポイ捨てや路上喫煙の状況の把握を引き続き行う。 ②ポイ捨て禁止の啓発シールの貼付箇所を約100箇所を増やし、啓発に努める。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. ポイ捨て禁止キャンペーン回数	単位	回
				B. ポイ捨て及び路上喫煙実態調査	単位	回
				C. 清掃活動のホームページ等への掲載回数	単位	回
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	多くの市民が環境美化に関心を持つことにより、市民自ら「ポイ捨てをしない、させない」環境づくりに取り組むようになり、ポイ捨てごみを減少させる。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. ポイ捨てに関する苦情の件数 【指標の性格:○上げる ●下げる ○維持する】	単位	件
				B. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	
				C. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	環境衛生が守られている	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	焼却処理施設での年間処理量(単位:t) 資源ごみ処理施設での年間処理量(単位:t) 粗大ごみ処理施設での年間処理量(単位:t) 生活公営に関する苦情件数(単位:件) 市営墓園利用率(市営墓園使用区画数/市営墓園基地数)(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	人口	人	297,592	297,267	297,267	297,267	298,148	298,148	26年度 298,148
対象 指標B	市内にポイ捨てされたごみの個数(中央通における定点観測)	個	449	446	400	295	295	295	26年度 240
対象 指標C									年度
活動 指標A	ポイ捨て禁止キャンペーン回数	回	2	2	2	2	2	2	26年度 2
活動 指標B	ポイ捨て及び路上喫煙実態調査	回	4	4	4	4	4	4	26年度 4
活動 指標C	清掃活動のホームページ等への掲載回数	回	5	5	5	5	5	5	26年度 5
成果 指標A	ポイ捨てに関する苦情の件数	件	1	1	0	0	0	0	26年度 0
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	0	89	20	35	1,077	20	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	0	89	20	35	1,077	20	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	0	89	20	35	1,077	20	*****
	延べ業務時間数	時間	200	200	200	200	200	200	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	800	800	800	800	800	800	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	800	889	820	835	1,877	820	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由:ポイ捨てごみが増減し、街がきれいになることで生活環境の保全につながる。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由:市民の生活環境の保全を目的とした啓発活動として実施している。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由:市内のポイ捨てごみを減少させることにより、きれいな街づくりの実現を目指している。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由:市民のマナー及びモラルの向上を目的としていることから、事業の意図は妥当である。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容:企業や町内会等のボランティア活動と連携を取ることで、より啓発効果が上がり成果が向上する余地はある。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容:生活環境の悪化やきれいな街づくりの実現に影響がある。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名:企業によるポイ捨て禁止を呼びかけるボランティア清掃活動。 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input checked="" type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない その内容:企業等のボランティア清掃活動を行政が支援し連携することで、成果の向上が望める。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由:事務用消耗品のみ経費であり、事業費の削減はできない。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由:他業務と兼務しており、業務の多くが企業等のボランティア清掃活動の支援となっていることから、業務時間の削減は難しい。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:

